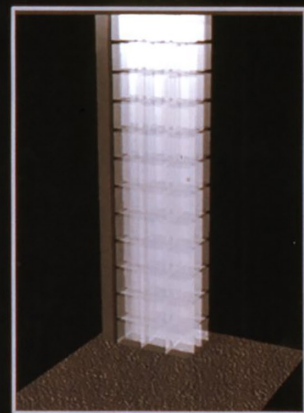


# A MARK OF RAIN WATER PICTURE

## BUS STOP TYPE



F U L L

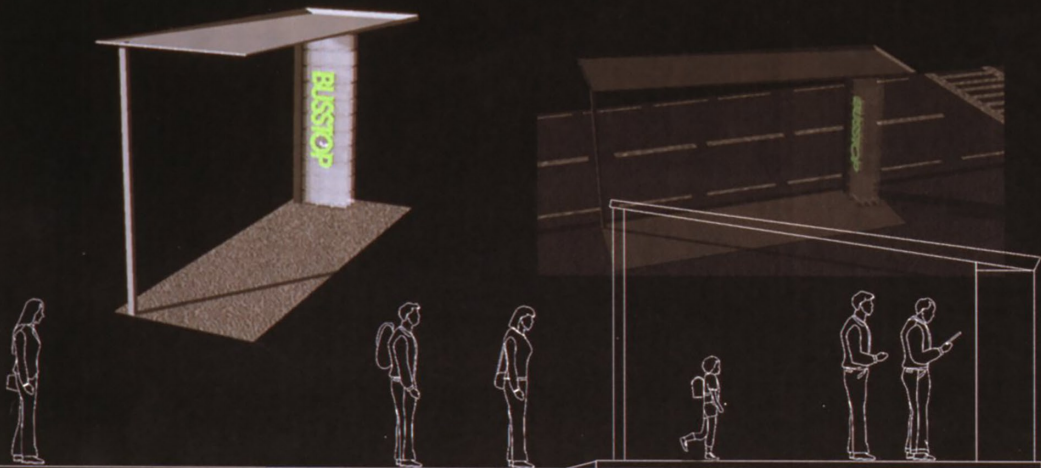
E M P T Y

雨の日におけるバス利用者の割合は非常に高い。また、バス停は比較的目立ちにくく、雨が降れば、さらに視界が悪くなり目立ちにくくなる。そのような状況でのガラスブロックを使ったバス停の提案です。

この提案は、ガラスブロックの集合体（柱）の中に、ある特定の意味をもった形状の空洞を作ってやり、雨が降ることにより、その空洞に雨水が溜まり視覚的情報を生み出すものです。この場合は「BUSSTOP」という文字の形状型の空洞をつかってやり視認性を高めます。



ガラスブロックの空洞に徐々に雨水が溜まっていく。



黄色の着色料

青色の着色料

### 吸入管

屋根に溜まった雨水を空洞に流す。

### 固形着色料

雨水に色を着ける

### 排水管

空洞が雨水で満たされたら、この管で屋根の上の水を排水する。

### 排水管（手動）

通常は閉じている。水を入れかえる時に開く。